

## 二次処理不要の生ごみ資源化装置

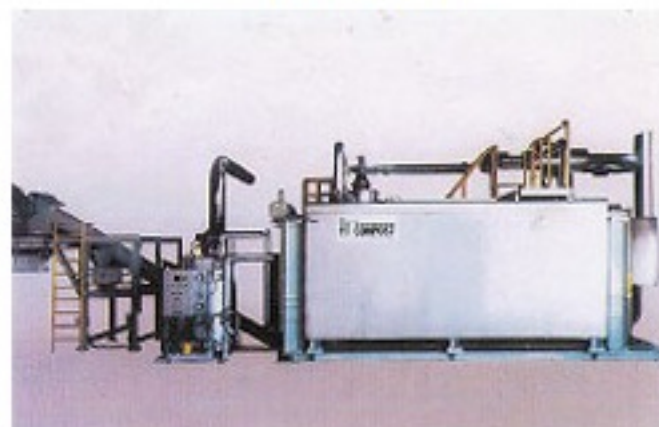
概要・品質・性能

生ごみを含む有機廃棄物を僅か1日で高速発酵乾燥処理して堆肥などの土壌改良材に変える生ごみ資源化装置。

毎日大量に発生する生ごみなどの資源物を攪拌して均一に間接加熱しながら、未熟コンポストの原因となるリグニンなどの難分解質の組織を分解・変性・細粒化することによって品質を安定化し、発酵や熟成処理を不要にした。

最終製品は悪臭が無く、市販の熟成した堆肥に類似するほど安定化。有機肥料に由来する資源物は付加価値の高い有機肥料に、汚泥肥料に由来するものは、汚泥肥料に登録するなど、処理物それ相応の再資源物に製品化する。

生ごみ資源化装置



用途

- (1) 汚泥を僅か1日で設置者がし尿汚泥肥料に登録
- (2) 畜糞尿を僅か1日で許諾者が畜糞尿肥料に登録  
許諾中（し尿汚泥・農業排水汚泥及び畜糞尿処理の案件を除く）

技術移転

- (1) 形態 特許実施権供与
- (2) 相手先 用途別実施許諾
- (3) 地域 国内・海外のいずれでもよい

実用化・情報

[試作・実験] 完了  
[製造・販売実績] 有り  
[技術情報の提供] 技術資料、パンフレット、特許公報等  
[情報提供者] (株)環境工学研究所  
代表 土田優二  
[連絡先] (財)りそな中小企業振興財団  
TEL.03-3444-9541 FAX.03-3444-9546

特許等

特許出願中：(4)・取得済(6)  
特許番号：第3310258  
第3294207  
関連特許番号：第2605209  
第2648659  
第2692755  
第2703513